

エコアクション21

環境経営レポート

対象期間:2020年10月～2021年9月

発行日 :2021年12月 10日



黒木コンポジット株式会社



エコアクション21
認証番号0012622

目次

1. 環境経営方針	P.3
2. 事業活動内容	
(1)会社概要	P.4
(2)体制図	P.5
3. 環境経営目標及び実績	
(1)中長期経営目標（中期）	P.6
(2)2020年度実績	P.7
4. 環境活動計画及び評価	
(1)環境活動計画	P.8
(2)環境活動内容と取り組みの評価	P.9～11
(3)実施状況	P.12～14
(4)次年度環境活動計画	P.15
5. 環境関連法規への違反, 訴訟等の有無	P.16
6. 代表者による全体評価と見直しの結果	P.17

1. 環境経営方針

《基本理念》

黒木コンポジット株式会社は、地球環境改善を重要な課題と位置づけ、
HIP処理 電子ビーム溶接 機械加工の事業活動を通じて生産における
環境への配慮を行うと共に、環境経営システムを構築・運用することにより、
継続的かつ着実に環境保全活動を行い次世代に継承出来る環境の実現を目指します。

《行動指針》

環境経営システムを構築・運用し、環境関連法規等を遵守するとともに環境負荷低減に努めます。
以下の行動指針に基づき、環境目標及び活動計画を定め、
定期的な見直しを行い、継続性のある活動を展開します。

- ① 二酸化炭素の排出を削減します。
(効率的なエネルギー使用を推進します。)
- ② 廃棄物の削減
(分別を徹底しリサイクル率の向上に努めます。)
- ③ 水使用量の削減
(節水に努め、水使用量を削減します。)
- ④ 使用する化学物質の削減に努めます。
- ⑤ 事業活動に関連する効率アップ及びグリーン購入を推進し環境負荷低減に努めます。
- ⑥ 関連する環境関連法規や条例等を遵守します。
- ⑦ 全従業員が改善活動の意義を理解し積極的に実践できるように方針を周知します。
- ⑧ この環境方針は広く一般に公表します。

2019年10月1日制定

黒木コンポジット株式会社

代表取締役社長 黒木 亜矢子

2. 事業活動内容

(1) 会社概要

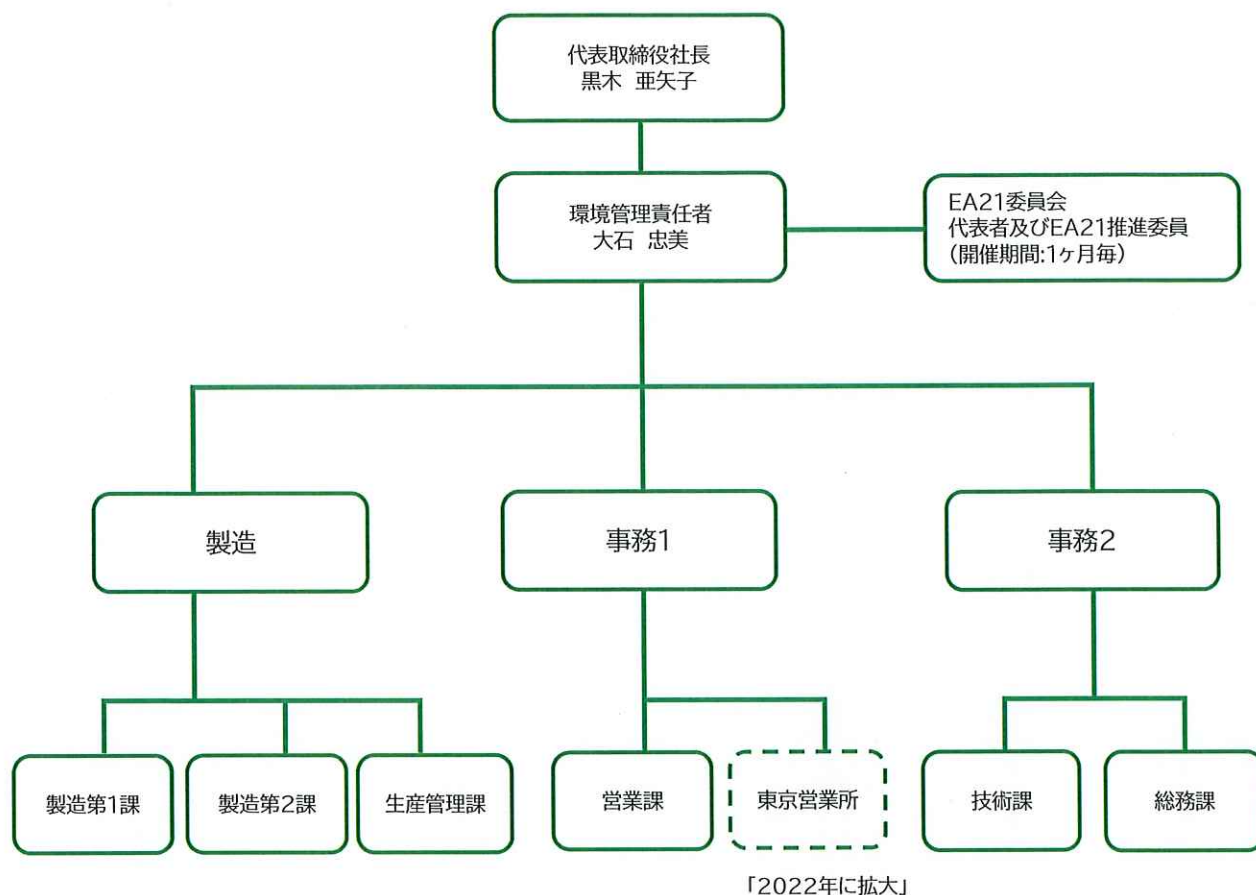
■ 事業所名	黒木コンポジット株式会社
■ 代表者名	黒木 亜矢子
■ 所在地（本社工場）	福岡県鞍手郡鞍手町大字古門字兵丹3109番地の9
■ 法人設立年月日	1986年10月(昭和61年)設立
■ 資本金	4,000万円(2021年9月末時点)
■ 環境管理責任者	大石 忠美
■ 連絡担当者	矢野 章
■ 連絡先	
○ 本社工場	TEL:0949-42-3301 FAX:0949-42-2390
○ 東京営業所	TEL:03-5713-3774 FAX:03-5713-2777
○ E-mail 本社工場	compo@kuroki.co.jp
■ 事業内容	HIP(熱間等方圧加圧) EBW(電子ビーム溶接) 及び 機械加工を使用した複合金属部品の製造
■ 当社の事業年度	10月1日～翌年9月30日
■ 事業規模	2020年度（35期実績） ・売上高 : 1,698 (百万円) ・従業員数 : 77 ・床面積 : 6,193 (m ²)
■ 認証登録範囲	『本社・工場及び全事業活動』 東京営業所は2022年に拡大する



2. 事業活動内容

体制図

2021年10月1日作成



所属		氏名（所属/役職）	役割・責任・権限
代表者		黒木 亜矢子 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組を実施する為の全体の評価と準備
環境管理責任者		大石 忠美 (工場長)	組織全体の把握及び、環境経営システムの構築・運用。それに関する情報の社長への報告
EA21事務局		総務課	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
推進委員	製造	副工場長	電力、廃棄物の排気量管理、リサイクル率管理
		製造第1課/課長	
		製造第2課/課長	
		生産管理課/課長	薬品・環境負荷物質の管理
	事務1	営業課/課長	車燃料(ガソリン、軽油)排出量管理
	事務2	技術課/課長	水消費量の管理、地域貢献、不適合管理
		総務課	

3. 環境経営目標及び達成状況

(1) 中長期経営目標 (2020～2022年度)

目的	環境経営目標	単位	2016年度 (第31期)	2020年度 (第35期)	2021年度 (第36期)	2022年度 (第37期)
省エネルギー	二酸化炭素 排出量※3	%	基準	7%削減※2	8%削減※2	9%削減※2
		Kg-CO2	1,454,927	1,921,376	2,288,891	2,449,369
	自動車 燃費量	%	2018年度基準	現状維持	現状維持	現状維持
		Km/L	13.38	13.38	13.38	13.38
資源リサイクル (廃棄物削減)	廃棄物 (一般廃棄物)	%	基準	7%削減	8%削減	9%削減
		Kg	4,503	4,776	7,083	7,581
	廃棄物 (産業廃棄物)	%	基準	7%削減	8%削減	9%削減
		Kg	20,841	28,693	32,788	35,086
	製品不良率※4	%	基準	7%削減	8%削減	9%削減
		%	2.90	2.70	2.67	2.64
省資源の推進	水使用量	%	基準	7%削減	8%削減	9%削減
		m³	5,082	6,711	7,995	8,556
環境汚染防止	グリーン購入 の推進	品	—	45	45	45
	化学物質 使用適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理
地域貢献	会社周辺 の清掃	回	—	1回/年※5	2回/年※5	2回/年

※1 各年度期間と売上比率による各年度の係数

2016年度(31期):2016年10月～2017年9月末

2020年度(35期):2020年10月～2021年9月末→1.19

2021年度(36期):2021年10月～2022年9月末→1.92

2022年度(37期):2022年10月～2023年9月末→1.85

売上比率による係数:各年度の売上(予測)金額から基準年度(2016年)度の売上金額を割った値から

各項目の目標値は基準値から各係数・削減率をかけたもの

※2 各削減率は過去3年間からの実績を見直した結果を基に設定

※3 CO2の調整後排出係数 (電力:九州電力2016年度実績引用)

[電力]0.483(kg-CO2/kWh)

※4 受注件数当たりの不適合率

※5 新型コロナウイルスが終息してから再開する

3. 環境経営目標及び達成状況

(2) 2020年度実績(2020年10月～2021年9月)

目的	環境経営目標	単位	2016年度	2020年度(2020年10月～9月)		
			基準年度	目標 (7%削減)	実績	評価※1
省エネルギー	二酸化炭素排出量※2	Kg-CO2	1,454,908	1,921,376	1,670,412	◎
	自動車燃費量	Km/L	13.38	13.38	13.59	○
資源リサイクル (廃棄物の削減)	廃棄物排出量 (一般廃棄物)	Kg	4,503	4,776	3,976	◎
	廃棄物排出量 (産業廃棄物)	Kg	20,841	28,693	30,377	○
	製品不良率削減※3	%	2.90	2.70	2.26	◎
省資源の推進	水使用量	m ³	5,082	6,711	5,121	◎
環境汚染防止	グリーン 購入の推進	品	—	45	91	◎
	化学物質適正管理	—	適正管理	適正管理	適正管理	◎
地域貢献	会社周辺の清掃	回/年	—	2	コロナ感染防止のため中止	×

※1 削減目標/達成目標の達成状況により表示を変える

100%以上 ◎ 80%以上～100%未満 ○ 80%未満 ×

社内評価:80%以上を合格とする

※2 CO2の調整後排出係数はP6を参照下さい

実績は実際の数値となります

※3 受注件数当たりの不適合発生率

4. 環境活動計画及び評価

(1) 2020年度環境活動計画

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10～12月	1～3月	4～6月	7～9月
排出量 の削減 7%削減	■ 電気使用量削減活動 - 不要な照明の消灯 - エアコン温度を時季に応じて設定 - 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上 - タイヤ空気圧の定期点検実施	製造第1課長 営業課長				
						
水使用量 の削減 7%削減	■ 節水の励行	総務課				
廃棄物 の削減 排出量 7%削減	■ 一般/産業廃棄物の削減 - ゴミの分別の徹底 - 工具再利用の実施	製造第2課長				
グリーン 購入の 推進	■ 目標品数: 45件 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入	総務課				
化学物質 管理 適正管	■ 管理の実施 - 配置場所の管理 - 使用量の管理	生産管理課長				
地域貢献	■ 会社周辺の清掃 - 地域社会の貢献として - 会社周辺の清掃を行っていく	生産技術課長				

4. 環境活動計画及び評価

(2) 環境活動内容と取組みの評価

1. 二酸化炭素排出量

目標	実績値	達成率	評価
1,921,376 Kg-CO2	1,670,412 Kg-CO2	113%	■ 電力使用量 エアコンや積極的な消灯にて省エネに努めてはいるが、HIP02/05の稼働が6月から増え、HIP02/05のみで7～9月消費電力は昨年の同月と比較すると1.3倍となった。生産量(≒売上)比の使用料は36期(21年度)は8%削減を目指す。 ■ ガソリン・軽油の使用量 燃費目標比:102% 今期は燃料の使用量は34期に比べガソリン62%軽油70%の使用量でコロナ過で社用車を使う頻度が下がっていた。また高速道路での長距離移動が減少したため燃費は悪化。環境問題を考慮しイブリッド車の導入等による燃費改善を検討中。 ■ 不適合 第34期は受注件数に対する不適合発生率(2.26%)と目標(2.70%以下)に抑える事が出来た。来期も目標が達成出来る様に更に監視・対策を講じて行きたい。
継続の可否			
■ 電力関係 :継続 ■ 燃費関係(ガソリン/軽油):継続 ■ 不適合製品発生率削減 :継続			
取組み内容			
■ 電力使用量削減 ・エアコン温度を時期に合わせ設定 ・不要な照明の消灯 (昼休み・夜勤・残業時) ■ 不適合製品発生率の削減 ・不良発生状況の把握/改善会議の開催 ・不良件数の削減 ■ 社用車の燃費向上 ・タイヤの定期点検			

2. 水使用量

目標	実績値	達成率	評価
6,711	5,121	124%	年間を通じて目標を十分に達成。今後も無駄がないようにこの状態を維持することとしたい。
m ³	m ³		
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・節水の励行			

3. 廃棄物総排出量

目標	実績値	達成率	評価
一般廃棄物			■ 一般廃棄物 工場内に分別用ゴミ箱を配置し分別廃棄を徹底、目標達成。 ■ 産業廃棄物 産業廃棄物は老朽化更新や冷却水入替による廃油排出力の増加で年間通しての排出量が増加した。加えて売り上げ増加に伴う排出増もあったが、目標は達成できた。 ■キリコ(ダライ粉) 鉄・アルミニウムの分別実施により、引取価格の向上に寄与した。
4,776 Kg	3,976 Kg	117%	
産業廃棄物			
28,693 Kg	30,377 Kg	94%	
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・工具再利用の推進			
・分別の実施			

4. 化学物質適正使用

目標	実績値	達成率	評価
適正管理	適正管理	-	クロム(金属紛)の購入量の増減は対象製品の受注状況に比例している。 年間通して入在庫管理が良く出来ていて、適正な運用が出来ていると判断する。
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・配置場所の管理 ・使用量の管理			

5. グリーン品購入

目標	実績値	達成率	評価
45	91	202%	購入する際にはグリーン購入法を意識するとともに、ファイルなどは再利用できるものは再利用する。ペンなどはできるだけ替え芯などで対応するなどを実行することとしたい。
件	件		
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・グリーン購入法特定調達品の購入			

6. ボランティア活動

目標	実績値	達成率	評価
2 回/年	0 回/年	0%	前期同様に年2回の実施を計画したが、新型コロナウイルス感染対策が難しい為中止とした
継続の可否			
継続			
取組み内容			
・会社周辺道路の清掃を3班に分け、春・秋の2回実施の予定だったが、 新型コロナウイルス感染予防のため一斉清掃活動は中止した			

4. 環境活動計画及び評価

(3)実施状況

■ エコアクション委員会の実施

毎月、各部署より選出されたエコアクション委員を招集し、

「エコアクション委員会」を実施。

電力使用量、ガソリン使用量などの各データをもとに、

活動の振り返りと今後の活動について、エコアクション委員を中心に協議を実施。

《エコアクション委員会 会議風景》

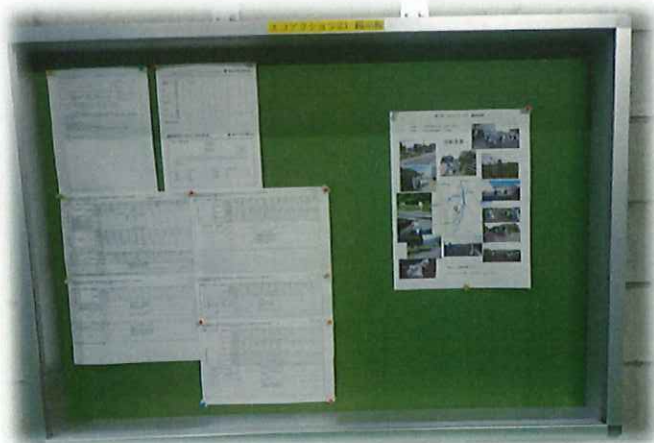


■ 環境掲示板の設置

活動内容及びエコアクション委員会での会議内容を掲示。

社員全員の目に届く場所に掲示することで、周知徹底を図っています。

《環境掲示板》



■ エアコンの定期清掃及び設定温度の指示

環境に配慮したエアコンの使用を実施。

各エアコンに夏季・冬季での使用時の設定温度を表示。

設定温度を、夏季は26℃、冬季は22℃に設定して使用しています。

毎月エアコンフィルターを清掃することで効率的な冷暖房の使用を心掛けています。

《各エアコンの設置状況》



■ 節電の呼びかけの実施

電力使用量削減を目的として、各署の照明スイッチ付近に節電の呼びかけを掲示。

「身近なところから始めれる」節電活動の啓蒙を図っています。

《節電呼びかけポスターの使用例》



■防災訓練の実施(2021.08.27)

弊社工場内の火災を想定し訓練実施

《訓練の様子》



4. 環境活動計画及び評価

(4)2021年度(36期) 環境活動計画

目的 (目標)	実施手段	責任者	スケジュール			
			10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
排出量の削減 二酸化炭素	■ 電気使用量削減活動 - 不要な照明の消灯 - エアコン温度を時季に応じて設定 - 不適合製品の削減 ■ ガソリン・軽油燃費向上 - タイヤ空気圧の定期点検実施	製造第1課長 営業課長				
						
8%削減						
水使用量の削減	■ 節水の励行	総務課				
8%削減						
廃棄物の削減 排出量	■ 一般/産業廃棄物の削減 - ゴミの分別の徹底 - 工具再利用の推進	製造第2課長				
						
8%削減						
グリーン購入の推進	■ 目標品数:45件 事務用品購入時にはグリーン品か否かを確認し購入	総務課				
化学物質管理適正	■ 管理の実施 - 配置場所の管理 - 使用量の管理	生産管理課長				
						
地域貢献	■ 会社周辺の清掃 地域社会の貢献として会社周辺の清掃を行っていく ※但し、コロナウィルスが落ち着き次第、再開する	生産技術課長				

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1)適用となる主な環境関連法規

法律名 (略称にて記載)	適用対象	適用条項		遵守状況
		条項	事項	判定
騒音規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
振動規制法	コンプレッサー等	法5・6条他	特定施設の設置の届出	適正
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物	令4条	委託先業者選択基準	適正
	産業廃棄物	規則8条	保管基準	適正
		法12条の2 規則8条の17	特別管理産業廃棄物に関わる処理	適正
		法12条の3	産業廃棄物管理票	適正
		規則8条の27	管理票交付者の報告書	適正
		法12条 令8条他	委託契約基準	適正
高圧ガス保安法	アルゴンガス	第5条 第35条 第35条の2	届出 保安検査 定期自主検査	適正

※上記法令の他、環境関連法に係る法令違反はありません。

(2)訴訟等

- ・関連機関等からの指摘等⇒無
- ・訴訟⇒無

6. 代表者による全体評価と見直しの結果

本年度も、全項目に具体的な対策実施、ほぼ全項目で目標を達成していますので、しっかりと環境負荷低減を意識した生産活動であったと思います。

地域貢献活動については、会社周辺の清掃を計画していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、大人数での清掃活動を中止とせざるを得ませんでした。

コロナ禍でも生産量が増加する中で、中長期的により高い削減目標を掲げていくことになっており、一層活発な活動を期待しています。

特に廃棄物については、分類徹底努力の効果が出ていますので、引き続きの取組みをよろしくお願いします。